

No.3

July 1981

REPORT  
OF  
SHIMANE PREFECTURE FISHERIES  
EXPERIMENTAL STATION

---

島根県水産試験場  
研究報告  
第3号

---

島根県水産試験場

浜田市瀬戸ヶ島町

昭和56年7月

SHIMANE, JAPAN

## は　じ　め　に

島根県水産試験場は明治34年に創設されて以来、ここに齡80年を算する。この長い歴史には幾多の栄光・変遷があるが、その業績については第二次世界大戦前後を除いて、各年度に事業報告を刊行している。

しかしながら、昭和55年4月に新庁舎を竣工し、研究面の整備・拡充につれて、本場を中心に鹿島・三刀屋の両分場においても事業に関する業績以外に事業を進める中であつてなされた研究的業績も増加してきた。研究業績は水産学会誌その他に発表する方法もあるが、事情によりそこまでいたらないけれども、日本海の水産研究にとって貴重なこの種の報文が職員の筐底に多数存するをみて、これらの価値を世に問う場として「研究報告」を刊行することとした。

本研究報告は研究業績がある程度集積するのを待つて随時刊行するものである。したがって、年1回と予定することはできないが、昭和42年3月に本報告の1～2号を発刊しながら以後尻切れトンボに終つた前歴を繰り返してはならない。

水産試験場本来の使命からみて3号誌に終らぬよう後進の努力を期待して序とする次第である。

昭和56年7月1日

島根県水産試験場長

児　島　俊　平

# 目 次

## スルメイカの資源学的研究—Ⅲ

日本海におけるスルメイカ秋生まれ群の資源水準の推定と

予測の方法について(抄録).....安達 二郎 1

## スルメイカの資源学的研究—Ⅳ

日本海におけるスルメイカ秋生まれ群稚仔分布密度の統計的検討.....安達 二郎 2

## スルメイカの資源学的研究—Ⅴ

日本海における秋生まれ群資源水準と稚仔分布の関係について.....安達 二郎 11

## スルメイカの資源学的研究—Ⅵ

日本海西部海域におけるスルメイカ分布の集中度について.....安達 二郎 18

## 魚体長組成推定における標本抽出についての統計的一検討(抄録)

.....安達 二郎 25

構造物に産着されたヤリイカ卵のうについて.....松山 康明・石田 健次 26

ケンサキイカの食性からみた生態について.....石田 健次 31

## イタヤガイの成熟に関する研究—Ⅰ

生殖巣の季節的变化.....佐竹 武元・森脇 晋平 36

## イタヤガイ稚貝の殻長組成からみた浮遊幼生の特性について

.....森脇 晋平・勢村 均・井沢 学 44

ウニによる養殖イタヤガイの付着生物の防除(抄録).....勢村 均 48

## 島根原子力発電所排水口近辺における魚類の生活様式について

.....森脇 晋平 49

## 島根原子力発電所温排水のひろがりに関する研究—Ⅰ

ひろがりにおよぼす因子の分析について.....森脇 晋平 58

島根原子力発電所温排水のひろがりに関する研究一Ⅱ

重回帰式によるひろがりの予測 ..... 森脇 晋平 63

中層トロール網漁具開発研究

山崎 繁・安達 二郎・田中 伸和・由木 雄一・石田 健次 67